



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月6日

上場会社名 アルフレッサホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2784 URL https://www.alfresa.com/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 泰三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 岸田 誠一 (TEL) 03-5219-5102
総務・財務担当

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,367,155	5.3	22,909	17.8	27,169	11.5	18,129	8.0
2019年3月期第2四半期	1,297,808	1.4	19,440	35.3	24,358	27.9	16,782	29.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 14,892百万円(△55.2%) 2019年3月期第2四半期 33,265百万円(136.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	85.65	—
2019年3月期第2四半期	78.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,327,878	451,601	33.9
2019年3月期	1,341,964	442,081	32.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 450,367百万円 2019年3月期 440,924百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2019年3月期における第2四半期末配当金および期末配当金には、それぞれ記念配当が3円含まれております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,680,000	1.5	45,400	1.4	55,600	0.8	37,600	△9.9	177.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期2Q	235,017,600株	2019年3月期	235,017,600株
2020年3月期2Q	23,343,577株	2019年3月期	23,343,237株
2020年3月期2Q	211,674,126株	2019年3月期2Q	214,271,443株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(企業結合等関係)	11
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、今年度新たに「19-21中期経営計画 さらなる成長への挑戦 ～健康とともに、地域とともに～」(以下「19-21中計」という。)を策定し、グループ経営方針に掲げた「グループ連携体制の構築」「事業モデルの変革」「地域の人々の健康への貢献」「さらなる生産性の向上」「人づくり」に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における当社の業績は、売上高1兆3,671億55百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益229億9百万円(同17.8%増)、経常利益271億69百万円(同11.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益181億29百万円(同8.0%増)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

① 医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品市場におきましては、抗悪性腫瘍薬の需要拡大等の影響により、市場は4.9%の成長となりました(クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推定)。

当社グループでは、厚生労働省より公表され2018年4月からスタートしました「医療用医薬品の流通改善に向けて流通関係者が遵守すべきガイドライン」の遵守を重点課題として、「経済合理性に立った取引の推進」「単品単価契約の推進」「早期妥結の推進」に引き続き取り組んでおります。

また、当社グループは医療用医薬品NO.1卸*として勝ち続けるために「19-21中計」の重点施策として掲げた「MS機能のさらなる進化」「スペシャリティ商品への注力」「グループ物流の高度化、効率化と標準化」に取り組んでおります。

「スペシャリティ商品への注力」としては、連結子会社のアルフレッサ株式会社(本社：東京都千代田区、以下「アルフレッサ」という。)が本年10月にスペシャリティ製品事業の推進体制を構築するため「スペシャリティ事業推進部」を新設し、グループ会社であるエス・エム・ディ株式会社(本社：東京都千代田区)と一体となって一元流通の積極的な展開を図っております。

「グループ物流の高度化」への取り組みとしては、アルフレッサが本年7月に静岡物流センター(仮称)(所在地：静岡県藤枝市)の建築に着工いたしました。当センターは、2021年5月稼働予定で静岡県における物流の中核拠点として、厳格な温度管理等が可能な高機能物流センターとなる予定です。

また、アルフレッサは本年9月にヤマト運輸株式会社(本社：東京都中央区)と「調剤薬局向け在宅医療支援サービス」を共同開発いたしました。

さらに、アルフレッサは本年9月に乳房用超音波画像診断装置の開発を目指すベンチャー企業である株式会社Lily MedTech(本社：東京都文京区)へ出資いたしました。同社が手掛ける本装置は現在の乳がん検診の課題を解決する医療機器として期待されています。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1兆2,019億37百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益200億99百万円(同16.3%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高78億4百万円(同0.2%減)を含んでおります。

※ 出典：「2019最新オール・データ&ランキング」卸グループ別医療用医薬品事業シェア(株式会社ドラッグマガジン)

② セルフメディケーション卸売事業

セルフメディケーション卸売事業におきましては、「トータルヘルスケア・マーチャンダイジング・ホールセラー」を推進し、新たな付加価値による差別化と創造性を持つオンリーワン卸を目指し、「19-21中計」の重点施策として掲げた「安定的かつ持続的な事業基盤の確立」「消費者視点に立った商品提案」「専売メーカー・専売商品の取り組み強化」「将来に向けた投資」「各事業セグメントとの連携強化」に取り組んでおります。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、インバウンド需要の減少および人手不足による人件費・物流費の高騰などにより、売上高1,385億7百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益13億65百万円(同5.8%減)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高3億95百万円(同62.3%減)を含んでおります。

③ 医薬品等製造事業

医薬品等製造事業におきましては、グループシナジーの強化とさらなる規模拡大を推進するため、「19-21中計」の重点施策として掲げた「安心・安全・誠実なモノづくりの推進」「グループニーズに沿った製品の拡充」「製造受託・医薬品原薬事業の拡大」「海外事業の拡充」に取り組んでおります。

「グループニーズに沿った製品の拡充」の取り組みとしては、連結子会社のアルフレッサ ファーマ株式会社(本社：大阪市中央区)が本年6月5日付で、潰瘍性大腸炎の病態把握の補助に使用されるカルプロテクチンキット「ネスコート® Cp オート」の体外診断用医薬品としての製造販売承認を取得いたしました。

また、アルフレッサ ファーマ株式会社は本年6月27日付で放射線治療用吸収性組織スペーサ「ネスキープ®」を新発売いたしました。悪性腫瘍の治療のために行われる放射線治療の中でも粒子線を用いた治療が近年注目されていますが、本製品を使用することでより多くの治療機会を提供できるものと考えております。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、第一三共株式会社(本社：東京都中央区)および同社の子会社である第一三共エスファ株式会社(本社：東京都中央区)から承継した長期収載品の売上増大等により、売上高223億72百万円(前年同期比13.1%増)、営業利益9億30百万円(同55.9%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高52億38百万円(同28.8%増)を含んでおります。

④ 医療関連事業

医療関連事業におきましては、収益改善を目指した効率化と環境変化に対応した機能強化を推進するため、「19-21中計」の重点施策として掲げた「機能に応じた店舗の再編」「収益改善を目指した効率化・高度化」「多機能化による地域社会への貢献」「各事業セグメントとの連携強化」に取り組んでおります。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、店舗数の増加や調剤報酬加算の獲得増加により、売上高177億75百万円(前年同期比6.0%増)、営業利益1億90百万円(前年同期は、営業損失15百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

資産は、前連結会計年度末と比較して140億86百万円減少し、1兆3,278億78百万円となりました。

流動資産は、135億11百万円減少し、1兆232億73百万円となりました。これは主として、増収に伴い「受取手形及び売掛金」が243億33百万円増加ならびに「商品及び製品」が106億55百万円増加した一方で、「現金及び預金」が495億59百万円減少したことによるものです。

固定資産は、5億75百万円減少し、3,046億5百万円となりました。これは主として、物流センター等への設備投資に伴い有形固定資産が70億96百万円増加した一方で、株式の売却および株式時価の下落等に伴い「投資有価証券」が53億71百万円減少したことによるものです。

② 負債の部

負債は、前連結会計年度末と比較して236億6百万円減少し、8,762億76百万円となりました。

流動負債は、227億87百万円減少し、8,371億23百万円となりました。これは主として、「支払手形及び買掛金」が136億40百万円減少ならびに「未払法人税等」が43億11百万円減少したことによるものです。

固定負債は、8億18百万円減少し、391億53百万円となりました。これは主として、「退職給付に係る負債」が3億62百万円減少ならびに売却による保有株式の減少および株式時価の下落等に伴い繰延税金負債等の「その他」が2億76百万円減少したことによるものです。

③ 純資産の部

純資産は、前連結会計年度末と比較して95億20百万円増加し、4,516億1百万円となりました。

これは主として、「利益剰余金」が127億65百万円増加した一方で、売却による保有株式の減少および株式時価の下落に伴い「その他有価証券評価差額金」が30億93百万円減少したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、496億26百万円減少(前年同期は110億39百万円の減少)し、1,554億58百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、前第2四半期連結累計期間と比較して以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、減少した資金は316億94百万円(前年同期は121億56百万円の増加)となりました。これは主として、前連結会計年度の末日(2019年3月31日)が休日であったこと等により仕入債務の支払が増加ならびに増益により「法人税等の支払額」が増加したことによるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は116億83百万円(前年同期は44億58百万円の減少)となりました。これは主として、物流センター建設等の物流設備投資および製造事業強化のための製造設備投資を中心とした有形固定資産の取得支出112億63百万円によるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、減少した資金は62億41百万円(前年同期は187億28百万円の減少)となりました。これは主として、利益剰余金の配当50億80百万円(1株当たり4円増配)を実施したことによるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	206,300	156,741
受取手形及び売掛金	614,084	638,417
有価証券	10	—
商品及び製品	128,016	138,672
仕掛品	1,723	1,422
原材料及び貯蔵品	3,971	4,418
その他	83,120	84,071
貸倒引当金	△442	△472
流動資産合計	1,036,784	1,023,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	53,361	53,441
土地	65,765	66,551
その他（純額）	22,401	28,632
有形固定資産合計	141,528	148,625
無形固定資産		
のれん	4,970	4,524
その他	14,757	14,099
無形固定資産合計	19,727	18,624
投資その他の資産		
投資有価証券	123,643	118,271
その他	24,526	23,461
貸倒引当金	△4,246	△4,377
投資その他の資産合計	143,923	137,355
固定資産合計	305,180	304,605
資産合計	1,341,964	1,327,878

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	817,446	803,805
短期借入金	760	620
未払法人税等	12,645	8,334
賞与引当金	8,387	6,704
その他	20,670	17,658
流動負債合計	859,911	837,123
固定負債		
長期借入金	951	771
退職給付に係る負債	12,889	12,527
その他	26,130	25,854
固定負債合計	39,971	39,153
負債合計	899,883	876,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	101,958	101,958
利益剰余金	288,154	300,919
自己株式	△29,365	△29,366
株主資本合計	379,201	391,965
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,167	60,074
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	△3,676	△3,676
為替換算調整勘定	89	68
退職給付に係る調整累計額	2,142	1,936
その他の包括利益累計額合計	61,722	58,401
非支配株主持分	1,157	1,234
純資産合計	442,081	451,601
負債純資産合計	1,341,964	1,327,878

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	1,297,808	1,367,155
売上原価	1,201,630	1,265,061
売上総利益	96,178	102,094
返品調整引当金戻入額	696	678
返品調整引当金繰入額	653	630
差引売上総利益	96,221	102,143
販売費及び一般管理費	76,780	79,233
営業利益	19,440	22,909
営業外収益		
受取利息	53	52
受取配当金	1,266	1,225
受取情報料	2,979	3,110
その他	1,024	1,145
営業外収益合計	5,323	5,533
営業外費用		
支払利息	46	49
持分法による投資損失	54	1,037
不動産賃貸費用	118	116
その他	187	71
営業外費用合計	406	1,274
経常利益	24,358	27,169
特別利益		
固定資産売却益	896	24
投資有価証券売却益	64	386
特別利益合計	961	410
特別損失		
固定資産売却損	0	147
固定資産除却損	31	83
減損損失	375	2
投資有価証券評価損	0	32
合併関連費用	121	—
その他	15	1
特別損失合計	545	266
税金等調整前四半期純利益	24,773	27,313
法人税、住民税及び事業税	11,809	7,668
法人税等調整額	△3,824	1,431
法人税等合計	7,984	9,100
四半期純利益	16,789	18,213
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,782	18,129
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	83

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,395	△3,094
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△23	△21
退職給付に係る調整額	107	△205
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	—
その他の包括利益合計	16,476	△3,320
四半期包括利益	33,265	14,892
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,257	14,809
非支配株主に係る四半期包括利益	7	83

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	24,773	27,313
減価償却費	4,599	5,336
減損損失	375	2
のれん償却額	595	445
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△125	160
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△988	△1,683
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△260	△238
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△574	△157
受取利息及び受取配当金	△1,320	△1,277
支払利息	46	49
固定資産売却損益 (△は益)	△896	122
固定資産除却損	31	83
投資有価証券売却損益 (△は益)	△49	△385
投資有価証券評価損益 (△は益)	0	32
合併関連費用	121	—
売上債権の増減額 (△は増加)	22,525	△24,550
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,543	△10,802
仕入債務の増減額 (△は減少)	△23,398	△13,640
その他	△845	△2,448
小計	20,068	△21,638
利息及び配当金の受取額	1,322	1,280
利息の支払額	△43	△46
合併関連費用の支払額	△24	—
法人税等の支払額	△9,166	△11,290
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,156	△31,694

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△518	△513
定期預金の払戻による収入	446	402
有価証券の売却による収入	10	—
有形固定資産の取得による支出	△5,821	△11,263
有形固定資産の売却による収入	1,447	347
無形固定資産の取得による支出	△384	△593
長期前払費用の取得による支出	△81	△56
投資有価証券の取得による支出	△111	△731
投資有価証券の売却による収入	145	488
有価証券の償還による収入	—	10
貸付けによる支出	△83	△22
貸付金の回収による収入	525	98
子会社の清算による収入	—	211
その他	△32	△59
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,458	△11,683
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50	△110
長期借入れによる収入	200	—
長期借入金の返済による支出	△291	△210
リース債務の返済による支出	△881	△833
自己株式の取得による支出	△13,337	△1
自己株式の売却による収入	0	0
子会社の自己株式の取得による支出	△23	—
配当金の支払額	△4,333	△5,080
非支配株主への配当金の支払額	△11	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,728	△6,241
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,039	△49,626
現金及び現金同等物の期首残高	195,593	205,085
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	329	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	184,883	155,458

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

企業結合による暫定的な会計処理の確定

2019年3月1日におけるアルフレッサ ファーマ株式会社(当社連結子会社)と第一三共株式会社および第一三共エスファ株式会社の企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、第1四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、取得原価の当初配分額を以下のように見直しております。

1. 配分額の見直しの内容

のれん(暫定額)	5,845 百万円
製造販売権	△7,482 百万円
繰延税金負債	2,287 百万円
のれん(確定額)	651 百万円

2. 製造販売権の償却方法および償却期間

15年の均等償却

3. 影響額

上記の見直しに伴い、前連結会計年度末におけるのれんおよび繰延税金資産はそれぞれ5,139百万円および2,275百万円減少し、製造販売権および利益剰余金はそれぞれ7,440百万円および25百万円増加しております。

(セグメント情報)

1. 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメ ディケー ション卸 売事業	医薬品等 製造事業	医療関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,129,046	136,279	15,716	16,766	1,297,808	—	1,297,808
セグメント間の 内部売上高又は振替高	7,821	1,048	4,067	0	12,937	△12,937	—
計	1,136,867	137,327	19,784	16,766	1,310,746	△12,937	1,297,808
セグメント利益又は損失(△)	17,277	1,448	596	△15	19,307	133	19,440

(注1) セグメント利益の調整額133百万円には、セグメント間取引消去85百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用47百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメ ディケー ション卸 売事業	医薬品等 製造事業	医療関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,194,133	138,112	17,134	17,775	1,367,155	—	1,367,155
セグメント間の 内部売上高又は振替高	7,804	395	5,238	—	13,438	△13,438	—
計	1,201,937	138,507	22,372	17,775	1,380,594	△13,438	1,367,155
セグメント利益又は損失(△)	20,099	1,365	930	190	22,585	324	22,909

(注1) セグメント利益の調整額324百万円には、セグメント間取引消去213百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用110百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。